

<p>(企業名)</p> <p>ケミコン長岡株式会社</p>	<p>(業種)</p> <p>製造業 (電気二重層キャパシタなど)</p>
<p>(本社所在地)</p> <p>長岡市新産 3 丁目 4 番地 12</p>	<p>(従業員数)</p> <p>78 名</p>
<p>(代表者)</p> <p>代表取締役 市原博和</p>	
<p>【省エネ・再エネに関する自社の取り組み】</p> <p>(取り組みの内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年、太陽光パネルを用いた L E D 街灯に自社製品の「電気二重層キャパシタ」を提供し、佐渡市に寄贈された。 ・ 上記街灯を敷地内にも自作・設置したほか、屋上や壁面に太陽光パネルを自前で設置。発電した電気を会議室や廊下の照明、パソコンに使用。 ・ 人感センサーの利用による不要時の節電 ・ 曇天の多い日本海側にて、電気二重層キャパシタの特性（微弱な発電でも蓄電可能）を活かした太陽光発電による蓄電と、その電力利用として L E D 照明によるスマート農業の実証試験。 <p>(取り組みの成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の各種取り組みにより、再エネ導入前と比較し、工場全体で年間約 2 % 程度の商用電力を削減できた。 ・ 社員の節電意識が向上した。 ・ スマート農業の実証実験では、降雪、曇天時でも L E D 照明による水耕栽培に利用可能な電力をほぼ供給できた。 <p>日本海側の冬季でも太陽光発電のエネルギーが蓄電できたため、利用分野が広がる可能性がある。</p> <p>(現状(今後)の課題・今後取り組みたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄電デバイスとしての「電気二重層キャパシタ」の多方面への展開。 ・ 既存の太陽光発電と「電気二重層キャパシタ」の組み合わせに、風力発電を掛け合わせた実証試験を行い、最終的に地元長岡の企業とコラボした街路灯を展開したい。 ・ 工場での太陽光パネル増設により通常の商用電力から非化石エネルギー電力への転換を進める。 	